

第 1 4 6 回

取引先企業景気動向調査

〔平成26年 7- 9月 実績〕
〔平成26年 10-12月 見通し〕

瀬戸信用金庫

総合企画部

調査概要

1. 調査期間 平成26年7～9月を対象に9月上旬に実施した。
2. 調査対象先 瀬戸・尾張旭地区は11業種175社。（うち陶磁器製造業88社）
名古屋地区は7業種137社。（下表）
3. 調査方法 当金庫の営業店担当者による面接聞き取り調査。
4. 分析方法 各質問事項につき、増加（上昇）したとする企業割合と減少（下降）したとする企業割合の差（DI）を中心にして分析した。
なお、珪砂製造業、和飲食器卸売業、電設資材卸売業、建築・土木・生コン製造業、螺子製造業は陶磁器製造業の集計には含めていない。

《瀬戸・尾張旭地区》					《名古屋地区》				
業種		対象企業	有効回答	比率%	業種		対象企業	有効回答	比率%
陶磁器製造業	ノベルティ	17	17	100.0	製造業	繊維製品	11	11	100.0
	洋飲食器	9	9	100.0		機械部品	38	37	97.4
	タイル	8	8	100.0		紙加工品	15	15	100.0
	電磁器	20	20	100.0	卸売業	鋼材伸銅	21	21	100.0
	ファインセラミックス	14	14	100.0		建築材料	16	16	100.0
	和飲食器	20	20	100.0		家具文具	9	9	100.0
陶磁器製造業計	88	88	100.0	— — —		—	—	—	
珪砂製造業	11	11	100.0	— — —		—	—	—	
その他5業種	和飲食器卸売業	24	24	100.0	— — —	—	—	—	
	電設資材卸売業	18	18	100.0	— — —	—	—	—	
	建築・土木・生コン製造業	17	17	100.0	— — —	—	—	—	
	螺子製造業	17	17	100.0	— — —	—	—	—	
	その他5業種計	87	87	100.0	建設業	27	27	100.0	
瀬戸・尾張旭地区合計		175	175	100.0	名古屋地区合計		137	136	99.3
合計		対象企業数	312 社	有効回答数	311 社	回答率	99.7%		

判断指数：（DI）とは、業況・受注・売上・収益の増加企業割合から減少企業割合を引いた数値で、どちらの割合が多いかを比べて、景気がどの方向に向きつつあるかをみる方法である。

（例）前回に比べて売上が増加した企業割合40%、変わらなかった企業割合50%、減少した企業割合10%の場合、判断指数は40－10＝30となる。

判断指数がプラスのとき → 景気上向き

判断指数が0のとき → 景気横ばい

判断指数がマイナスのとき → 景気下向きと読み取る。

< 瀬戸・尾張旭地区 >

1. 今回調査の景況（7～9月）

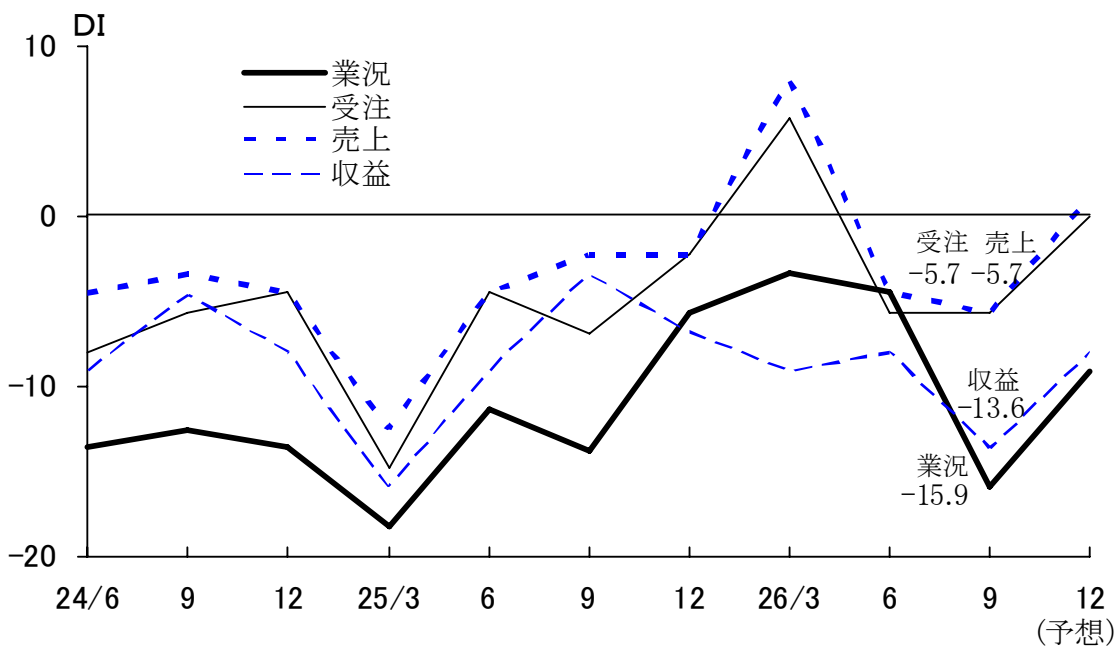
季節的要因により低調

瀬戸・尾張旭地区の陶磁器製造業取引先企業（有効回答企業 88 社）の 7～9 月（聞き取りによる前回調査 4～6 月との対比）の業況についてみると、業況判断 D I は $\Delta 15.9$ となり、前回実績 ($\Delta 4.5$) 比 11.4 ポイントの悪化となった。

当地区陶磁器製造業においては、消費増税に伴う悪化も落ち着きつつあり、全体としては持ち直し傾向であるものの、業況は依然厳しく低調に推移した。

業種別の業況判断 D I をみると、ファインセラミックスは弱含みで推移、洋飲食器・タイル・電磁器は横ばい、ノベルティ・和飲食器は悪化した。

◎ 陶磁器製造業の業況・受注・売上・収益 D I 推移（前回調査比）



2. 来期の見通し（10～12月）

6.8ポイント改善予想

陶磁器製造業全体での予想業況判断 D I は $\Delta 9.1$ となり、今回実績 ($\Delta 15.9$) 比 6.8 ポイントの改善予想となった。

業種別の業況判断 D I では、ノベルティ・ファインセラミックスは改善、洋飲食器・和飲食器は横ばい、タイル・電磁器は悪化する見通し。

◎陶磁器製造業のD I 推移

指標		時期										
		H24			H25				H26			H26.10-12
		4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	(予想)
前回調査比	業況											
		-13.6	-12.6	-13.6	-18.2	-11.4	-13.8	-5.7	-3.4	-4.5	-15.9 (-10.2)	(-9.1)
	受注額	-8.0	-5.7	-4.5	-14.8	-4.5	-6.9	-2.3	5.7	-5.7	-5.7 (3.4)	(0.0)
	売上額	-4.5	-3.4	-4.5	-12.5	-4.5	-2.3	-2.3	8.0	-4.5	-5.7 (0.0)	(1.1)
	売上数量	-9.1	-1.1	-3.4	-14.8	-6.8	-3.4	-2.3	2.3	-6.8	-8.0 (1.1)	(-2.3)
	販売単価	-2.3	2.3	-3.4	0.0	-3.4	0.0	-1.1	-1.1	3.4	9.1 (1.1)	(4.5)
	仕入価格	10.2	11.5	11.4	14.8	13.6	13.8	18.2	15.9	23.9	20.5 (17.0)	(17.0)
	製品在庫	2.3	3.4	2.3	1.1	-1.1	2.3	-1.1	0.0	5.7	2.3 (3.4)	(1.1)
	原材料在庫	0.0	3.4	2.3	0.0	0.0	2.3	1.1	1.1	2.3	2.3 (-1.1)	(1.1)
	収益	-9.1	-4.6	-8.0	-15.9	-9.1	-3.4	-6.8	-9.1	-8.0	-13.6 (-5.7)	(-8.0)
資金繰り	-12.5	-10.3	-11.4	-10.2	-10.2	-9.2	-11.4	-9.1	-17.0	-10.2 (-18.2)	(-12.5)	
前年同期比	売上額	-5.7	2.3	-4.5	-6.8	2.3	-3.4	-4.5	8.0	-2.3	-8.0	
	収益	-4.5	2.3	-4.5	-9.1	-2.3	-9.2	-10.2	-4.5	-5.7	-10.2	
設備投資 実施割合 (%)		5.7	4.6	3.4	2.3	3.4	4.6	3.4	5.7	6.8	4.5 (6.8)	(3.4)
平均受注残		6月末 1.4ヶ月	9月末 1.5ヶ月	12月末 1.5ヶ月	3月末 1.4ヶ月	6月末 1.5ヶ月	9月末 1.4ヶ月	12月末 1.4ヶ月	3月末 1.5ヶ月	6月末 1.7ヶ月	9月末 1.7ヶ月	

注. () 内は前期に予想した割合を示す。

景況天気図



陶磁器製造業

<ノベルティ>

1. 景況

業況判断D Iは△5.9、前回（17.6）に比べ23.5ポイント悪化した。キャラクター商品で受注増加となった企業があるものの、国内需要の低迷により業況は厳しく、受注・売上・収益は低調に推移した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは23.5、今期実績比29.4ポイント改善の見込み。引き続き年末に向けてキャラクター商品の増加を見込む企業や、季節商品である干支の売上増加を見込む企業があり、受注・売上・収益ともに改善する見込み。

	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	17.6	23.5	58.8	△5.9	△23.5		29.4	5.9	64.7	23.5	29.4
受注	11.8	11.8	76.5	0.0	△17.6		23.6	11.8	64.7	11.8	11.8
売上	11.8	5.9	82.4	5.9	△11.7	11.8	23.5	5.9	70.6	17.6	11.7
収益	11.8	17.6	70.6	△5.9	△11.8	5.9	23.5	11.8	64.7	11.8	17.7

<洋飲食器>

1. 景況

業況判断D Iは△33.3、前回（△33.3）と変わらず横ばいで推移した。原材料、燃料の高騰は続いており、業況は依然厳しいものの、前年並みの売上を維持した企業も多くあり、受注・売上・収益はいずれも持ち直した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△33.3、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。消費増税後の冷え込みが続くとみる企業があり、受注・売上は悪化、収益は横ばいで推移する見込み。

	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	33.3	66.7	△33.3	0.0		0.0	33.3	66.7	△33.3	0.0
受注	0.0	0.0	100.0	0.0	22.2		0.0	11.1	88.9	△11.1	△11.1
売上	0.0	0.0	100.0	0.0	11.1	△11.1	0.0	11.1	88.9	△11.1	△11.1
収益	0.0	0.0	100.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

<タイル>

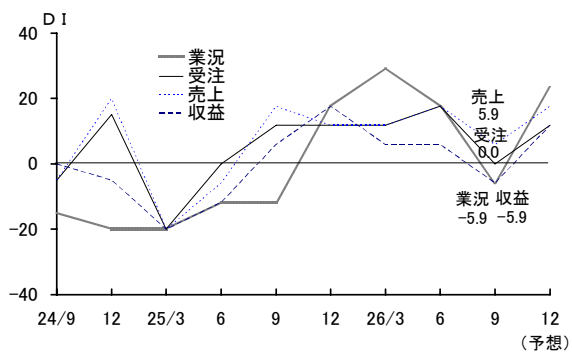
1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回（0.0）と変わらず横ばいで推移した。大型受注により受注・売上が改善した企業があり、受注・売上は順調に推移した。受注は好転、収益も改善した。

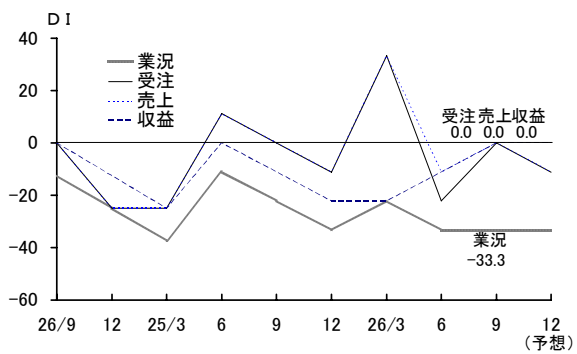
2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△12.5、今期実績比12.5ポイント悪化する見込み。前期の大型受注の反動減を見込む企業があり、受注・売上は悪化、収益は横ばいで推移する見込み。

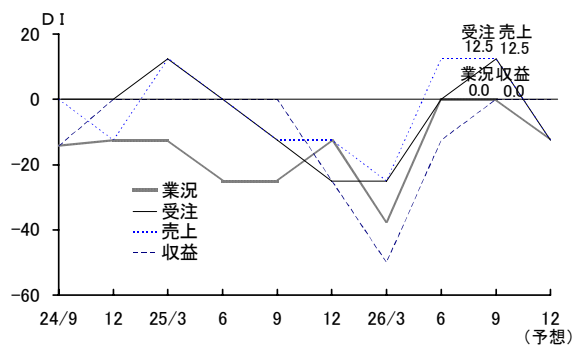
	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		0.0	12.5	87.5	△12.5	△12.5
受注	12.5	0.0	87.5	12.5	12.5		0.0	12.5	87.5	△12.5	△25.0
売上	12.5	0.0	87.5	12.5	0.0	25.0	0.0	12.5	87.5	△12.5	△25.0
収益	0.0	0.0	100.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0



時期	前期 平成26年 4～6月	当期 平成26年 7～9月	来期見通し 平成26年 10～12月
業種			
ノベルティ			



洋飲食器			
------	--	--	--



タイル			
-----	--	--	--

<電磁器>

1. 景況

業況判断D Iは△15.0、前回（△15.0）と変わらず横ばいで推移した。販売単価の値上げや入札による受注が増加した企業があったが、取引先の在庫調整や原発の稼働停止の影響により受注が落ち込んだ企業もあり、受注・売上は低調に推移しているものの、収益は低調ながらも改善した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△20.0、今期実績比 5.0 ポイント悪化の見込み。販売単価の値上げにより受注の増加を見込む企業がある一方、人手不足のため新規顧客の受注を断る企業もあり、受注・売上・収益は変わらず低調に推移する見込み。

	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	15.0	85.0	△15.0	0.0		0.0	20.0	80.0	△20.0	△5.0
受注	10.0	20.0	70.0	△10.0	0.0		5.0	15.0	80.0	△10.0	0.0
売上	5.0	20.0	75.0	△15.0	0.0	△20.0	0.0	15.0	85.0	△15.0	0.0
収益	0.0	20.0	80.0	△20.0	5.0	△20.0	0.0	20.0	80.0	△20.0	0.0

<ファインセラミックス>

1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回（28.6）に比べ 28.6 ポイント悪化した。インターネットによるサンプル受注の好調な企業があった一方、廃業により取引先が減少となった企業もあり受注は横ばい、売上・収益は悪化した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは 21.4、今期実績比 21.4 ポイント改善の見込み。取引先の減少を懸念する企業もあるが、引き続きインターネットによる受注の好調や主要取引先からの受注増加を見込む企業もあり、受注・売上は改善、収益は横ばいで推移する見込み。

	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	7.1	7.1	85.7	0.0	△28.6		28.5	7.1	64.3	21.4	21.4
受注	7.1	7.1	85.7	0.0	0.0		14.2	7.1	78.6	7.1	7.1
売上	0.0	7.1	92.9	△7.1	△7.1	7.1	14.2	7.1	78.6	7.1	14.2
収益	7.1	7.1	85.7	0.0	△35.7	△7.1	7.1	7.1	85.7	0.0	0.0

<和飲食器>

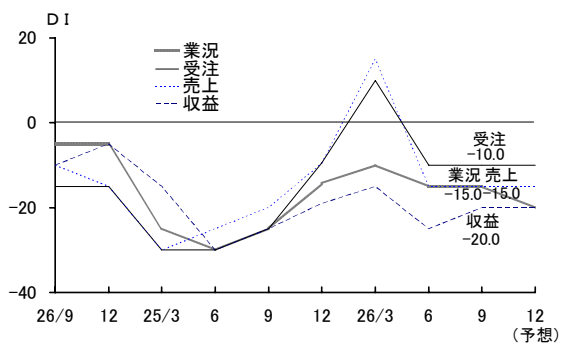
1. 景況

業況判断D Iは△35.0、前回（△25.0）に比べ 10.0 ポイント悪化した。市場の低迷や取引先の不振により受注が減少となった企業もあるものの、インターネット販売や販売単価の引上げにより売上は改善したが、受注・収益はいずれも低調に推移した。

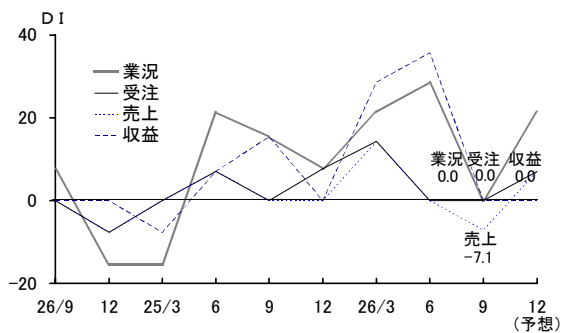
2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは△35.0、今期実績比変わらず横ばいの見込み。市場の低迷は続くと思われるものの、冬物の季節商品により受注・売上増加を見込む企業があり、受注・売上・収益はいずれも改善する見込み。

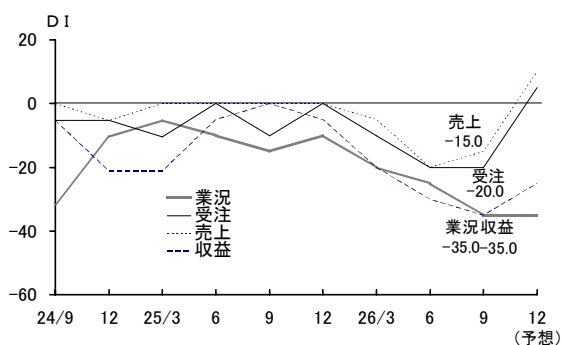
	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	0.0	35.0	65.0	△35.0	△10.0		0.0	35.0	65.0	△35.0	0.0
受注	0.0	20.0	80.0	△20.0	0.0		15.0	10.0	75.0	5.0	25.0
売上	0.0	15.0	85.0	△15.0	5.0	△35.0	15.0	5.0	80.0	10.0	25.0
収益	0.0	35.0	65.0	△35.0	△5.0	△30.0	5.0	30.0	65.0	△25.0	10.0



時期	前期 平成26年 4~6月	当期 平成26年 7~9月	来期見通し 平成26年 10~12月
業種			
電磁器			



ファインセラミックス			
------------	--	--	--



和飲食器			
------	--	--	--

その他

<珪砂製造業>

1. 景況

業況判断D Iは18.2、前回(18.2)と変わらず横ばいで推移した。主要取引先からの受注増加となった企業もあるが、円安の影響で仕入れ価格の上昇等により、受注・収益は弱含みで推移、売上は悪化した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは36.4、今期実績比18.2ポイント改善の見込み。主要取引先からの受注回復を見込む企業があるが、円安で仕入コスト上昇による収益の減少を見込む企業もあり、受注は横ばい、売上は改善するものの、収益は悪化する見込み。

	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	27.3	9.1	63.6	18.2	0.0		36.4	0.0	63.6	36.4	18.2
受注	18.2	18.2	63.6	0.0	△9.1		9.1	9.1	81.8	0.0	0.0
売上	9.1	18.2	72.7	△9.1	△18.2	9.1	9.1	9.1	81.8	0.0	9.1
収益	9.1	9.1	81.8	0.0	△18.2	△18.2	0.0	18.2	81.8	△18.2	△18.2

<和飲食器卸売業>

1. 景況

業況判断D Iは△4.2、前回(△12.5)に比べ8.3ポイント改善した。インターネット販売やスポットにより売上が増加した企業があったものの、消費増税に伴う反動減や仕入高の増加により収益は悪化した。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは12.5、今期実績比16.7ポイント改善の見込み。安価な海外製品との競争が激しいなか、主要取引先や季節商品(干支、鍋等)により売上増加を見込む企業があり、売上・収益はともに改善する見込み。

	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	4.2	8.4	87.5	△4.2	8.3		16.7	4.2	79.2	12.5	16.7
売上	4.2	8.4	87.5	△4.2	8.3	△12.5	20.9	0.0	79.2	20.8	25.0
収益	4.2	20.9	75.0	△16.7	△4.2	△8.3	25.0	4.2	70.8	20.8	37.5

<電設資材卸売業>

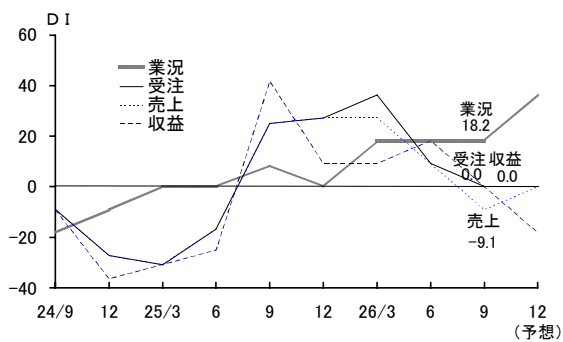
1. 景況

業況判断D Iは△5.6、前回(11.1)に比べ16.7ポイント悪化した。既存取引先からの安定した受注やマンション建設工事等に伴う空調設備等により売上増加となった企業があり、売上は改善、消費増税に伴う反動減の影響もあり、収益は弱含みで推移した。

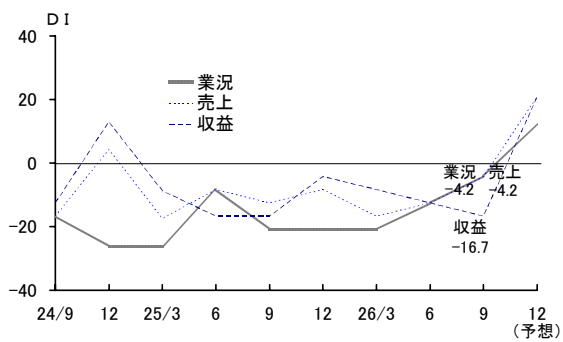
2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは5.6、今期実績比11.2ポイント改善する見込み。引き続きマンション建設工事等の増加や冬のイルミネーションのLEDによる受注を見込む企業があり、売上・収益はともに改善する見込み。

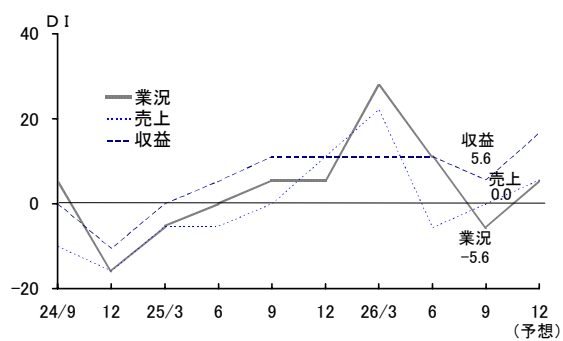
	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	5.6	11.1	83.3	△5.6	△16.7		11.1	5.6	83.3	5.6	11.2
売上	5.6	5.6	88.9	0.0	5.6	△11.1	11.1	5.6	83.3	5.6	5.6
収益	11.1	5.6	83.3	5.6	△5.5	0.0	22.2	5.6	72.2	16.7	11.1



時期	前期 平成26年 4～6月	当期 平成26年 7～9月	来期見通し 平成26年 10～12月
業種			
珪砂製造業			



和飲食器 卸売業			
-------------	--	--	--



電設資材 卸売業			
-------------	--	--	--

〈建築・土木・生コン製造業〉

1. 景況

業況判断D Iは11.8、前回(5.9)に比べ5.9ポイント改善した。公共工事の増加に伴い、大型受注を獲得した企業などがみられたが、一般住宅の新築、改修工事が減少した企業もあり、売上は横ばいで推移し、受注・収益は弱含みとなった。

2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは11.8、今期実績比変わらず横ばいの見込み。引き続き公共工事の増加から受注増加を見込む企業がある一方、公共工事の減少を懸念する企業もあり、受注は改善、売上は弱含み、収益は横ばいの見込み。

	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	17.6	5.9	76.5	11.8	5.9		11.8	0.0	88.2	11.8	0.0
受注	11.8	5.9	82.4	5.9	△11.7		17.7	0.0	82.4	17.6	11.7
売上	17.7	0.0	82.4	17.6	0.0	17.6	17.7	5.9	76.5	11.8	△5.8
収益	5.9	0.0	94.1	5.9	△11.7	17.6	11.8	5.9	82.4	5.9	0.0

〈螺子製造業〉

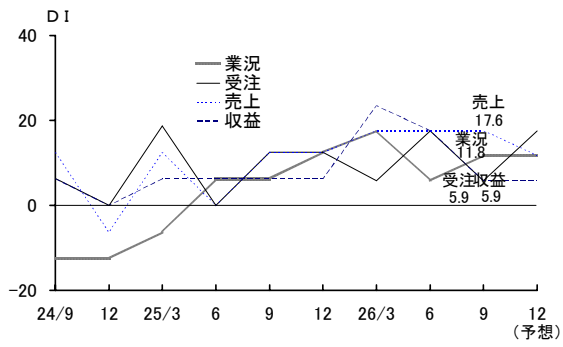
1. 景況

業況判断D Iは0.0、前回(0.0)と変わらず横ばいで推移した。安価な海外製品との競合があるものの、自動車業界や主力取引先からの安定的な受注に支えられ、受注・売上・収益はいずれも改善した。

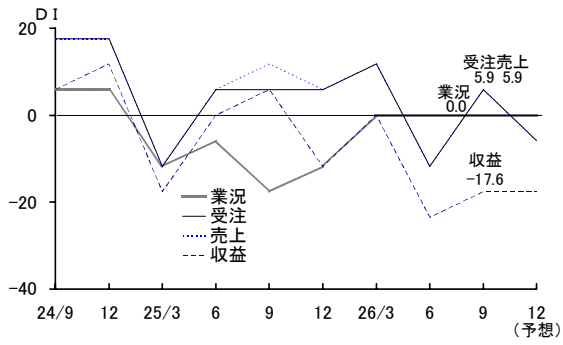
2. 来期の見通し

予想業況判断D Iは0.0、今期実績比変わらず横ばいで推移する見込み。同業他社との競争激化や販売単価の値下げを見込む企業もあり、受注・売上は悪化、収益は横ばいで推移する見込み。

	26年7-9月の実績				前回との 変動幅	前年 同期比 D I	26年10-12月の見通し				今回との 変動幅
	増加	減少	不変	D I			増加	減少	不変	D I	
業況	11.8	11.8	76.5	0.0	0.0		5.9	5.9	88.2	0.0	0.0
受注	5.9	0.0	94.1	5.9	17.7		0.0	5.9	94.1	△5.9	△11.8
売上	5.9	0.0	94.1	5.9	17.7	0.0	0.0	5.9	94.1	△5.9	△11.8
収益	5.9	23.5	70.6	△17.6	5.9	△5.9	0.0	17.6	82.4	△17.6	0.0



時期	前期 平成26年 4～6月	当期 平成26年 7～9月	来期見通し 平成26年 10～12月
業種			
建築・土木 生コン 製造業			

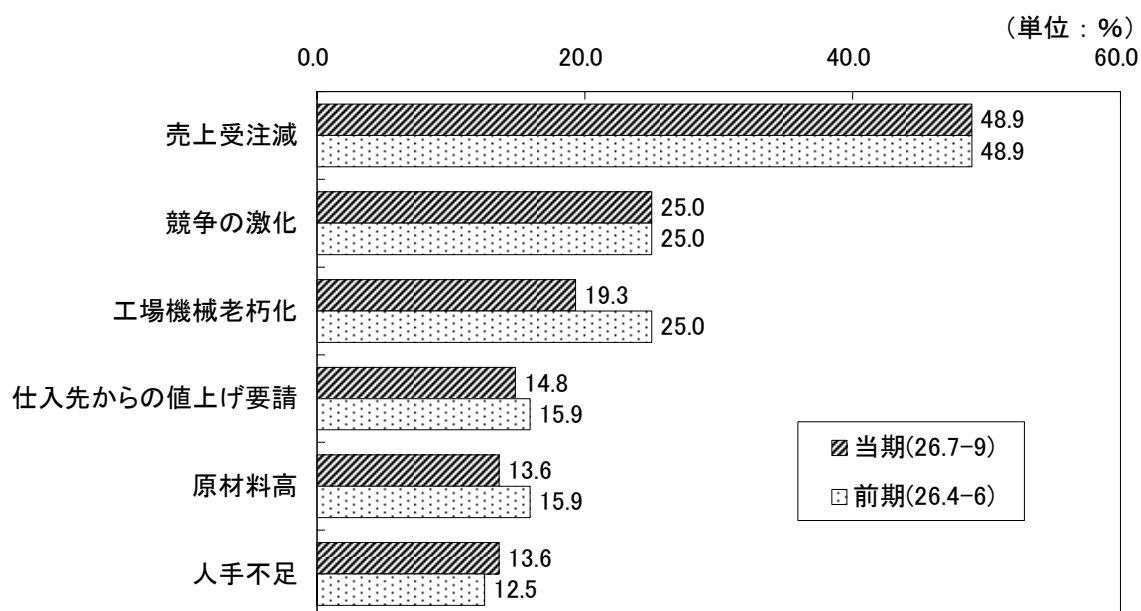


螺子製造業			
-------	--	--	--

経営上の問題点上位5項目（陶磁器製造業）

今回調査では、1位「売上・受注の停滞・減少」、2位「競争の激化」はともに変わらず、3位の「工場機械老朽化」は19.3%となり前期から5.7ポイント減少。

また、平成19年10-12月期以来、第5位に「人手不足」が入った。



※数字は有効回答数に占める割合で1企業が3項目回答

設備投資の動き（陶磁器製造業）

今回調査では、設備投資の実績は4.5%で、前期実績を2.3ポイント下回った。来期（今後3か月以内）は3.4%で、当期実績を1.1ポイント下回って推移する予想となった。

(単位：%)

	前期 26年4-6月期	当期 26年7-9月期	来期 26年10-12月期
実施あり	6.8	4.5	3.4
土地	0.0	0.0	0.0
建物	0.0	0.0	0.0
機械の新設	50.0	50.0	100.0
機械の更改	50.0	25.0	0.0
その他	0.0	50.0	0.0
実施なし	93.2	95.5	96.6

中小企業における『成長戦略』への期待について

特別調査として「中小企業における『成長戦略』への期待について」を、瀬戸・尾張旭地区の11業種175社（うち陶磁器製造業88社）、名古屋地区の7業種137社を対象に調査を実施しました。結果は以下のとおりです。

なお、全国、愛知県は、信金中央金庫の調査によるもので、調査先は全国15,920先、愛知県726先の結果です。

1. アベノミクスへの実感と期待感について

(単位:%)

	これまでの実感								今後の期待感							
	実感している				どちらとも いえない	実感していない			期待している				どちらとも いえない	期待していない		
	大いに 実感	やや 実感				あまり 実感せず	まったく 実感せず		大いに 期待	やや 期待		あまり 期待せず		まったく 期待せず		
ノベルティ	17.6	0.0	17.6	11.8	70.6	35.3	35.3	17.6	0.0	17.6	23.5	58.8	41.2	17.6		
洋飲食器	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	55.6	33.3	22.2	11.1		
タイル	37.5	12.5	25.0	37.5	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	62.5	25.0	12.5	12.5		
電磁器	5.0	0.0	5.0	30.0	65.0	45.0	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0	70.0	55.0	15.0		
ファインセラミックス	28.6	7.1	21.4	35.7	35.7	21.4	14.3	42.9	14.3	28.6	35.7	21.4	14.3	7.1		
和飲食器	5.0	0.0	5.0	10.0	85.0	35.0	50.0	10.0	5.0	5.0	20.0	70.0	50.0	20.0		
陶磁器製造業計	13.6	2.3	11.4	27.3	59.1	29.5	29.5	14.8	4.5	10.2	33.0	52.3	37.5	14.8		
珪砂	54.5	9.1	45.5	9.1	36.4	36.4	0.0	45.5	36.4	9.1	45.5	9.1	9.1	0.0		
和飲食器卸売	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	41.7	33.3	16.7	0.0	16.7	25.0	58.3	41.7	16.7		
電設資材卸売	11.1	0.0	11.1	50.0	44.4	44.4	0.0	38.9	5.6	33.3	27.8	27.8	27.8	0.0		
建築・土木・生コン	11.8	0.0	11.8	52.9	35.3	17.6	17.6	47.1	0.0	47.1	17.6	35.3	35.3	0.0		
螺子	0.0	0.0	0.0	52.9	47.1	41.2	5.9	23.5	0.0	23.5	41.2	35.3	35.3	0.0		
その他業種計	11.5	1.1	10.3	39.1	50.6	36.8	13.8	32.2	5.7	26.4	29.9	36.8	32.2	4.6		
瀬戸・尾張旭地区取引先計	12.6	1.7	10.9	33.1	54.9	33.1	21.7	23.4	5.1	18.3	31.4	44.6	34.9	9.7		
名古屋地区取引先計	12.5	1.5	11.0	36.8	50.7	37.5	13.2	25.7	2.9	22.8	37.5	36.8	30.1	6.6		
当金庫取引先計	12.5	1.6	10.9	34.7	53.1	35.0	18.0	24.4	4.2	20.3	34.1	41.2	32.8	8.4		
全国	14.6	1.5	13.2	28.7	56.7	34.1	22.5	30.2	5.0	25.2	28.0	41.8	30.1	11.7		
愛知	21.1	1.7	19.4	33.5	45.4	30.9	14.5	33.5	5.3	28.2	31.3	35.2	28.1	7.1		

アベノミクスへの実感と期待感の一部の企業にとどまる

<当金庫取引先>

アベノミクスへの実感と期待感について、アベノミクスの実感は「実感している」と回答した割合は12.5%（「大いに実感」1.6%、「やや実感」10.9%）、「実感していない」の回答割合は53.1%（「あまり実感せず」35.0%、「まったく実感せず」18.0%）となり、「実感している」と回答した企業を大きく上回った。また、瀬戸・尾張旭地区取引先および名古屋地区取引先ともに「実感している」回答割合が12%程で、5割強の回答割合があった「実感していない」が大きく上回った。

今後の期待感では「期待している」が24.4%の回答割合で、アベノミクスを実感している企業よりは期待感が高いものの、「期待していない」と回答した企業割合の41.2%を大きく下回った。瀬戸・尾張旭地区取引先、名古屋地区取引先の企業割合も当金庫取引先全体と同様に「期待していない」との回答が上回った。

<陶磁器製造業>

アベノミクスの実感は、「実感している」と回答した企業割合が13.6%、「実感していない」と回答した企業割合が59.1%と当金庫取引先全体の「実感していない」との回答割合を上回った。

今後の期待感では「期待している」との回答が14.8%、「期待していない」と回答した企業が52.3%とアベノミクスに期待する企業は少ない結果となった。

業種別をみると、アベノミクスの実感ではタイル37.5%、ファインセラミックス28.6%が実感しているのに対し、和飲食器85.0%、ノベルティ70.6%、電磁器65.0%の企業が実感していない。

今後の期待感ではファインセラミックスが42.9%と大きく、実感同様に和飲食器、ノベルティ、電磁器では期待感が薄い結果となった。

2. 法人税制改正に対する認識について

(単位:%)

	歓迎している			心配している			どちらでもない	当社には関係ない	わからない
	歓迎	やや歓迎		やや心配	心配				
ノベルティ	17.6	11.8	5.9	23.5	17.6	5.9	35.3	11.8	11.8
洋飲食器	0.0	0.0	0.0	66.7	55.6	11.1	11.1	0.0	22.2
タイル	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	12.5	25.0
電磁器	10.0	0.0	10.0	40.0	30.0	10.0	25.0	20.0	5.0
ファインセラミックス	35.7	7.1	28.6	14.3	14.3	0.0	35.7	7.1	7.1
和飲食器	30.0	5.0	25.0	5.0	0.0	5.0	30.0	25.0	10.0
陶磁器製造業計	20.5	5.7	14.8	23.9	18.2	5.7	29.5	14.8	11.4
珪砂	27.3	9.1	18.2	18.2	18.2	0.0	36.4	0.0	18.2
和飲食器卸売	16.7	12.5	4.2	41.7	25.0	16.7	33.3	4.2	4.2
電設資材卸売	11.1	0.0	11.1	33.3	33.3	0.0	44.4	5.6	5.6
建築・土木・生コン	11.8	0.0	11.8	35.3	35.3	0.0	41.2	11.8	0.0
螺子	0.0	0.0	0.0	29.4	23.5	5.9	41.2	5.9	23.5
その他業種計	12.6	4.6	8.0	33.3	27.6	5.7	39.1	5.7	9.2
瀬戸・尾張旭地区取引先計	16.6	5.1	11.4	28.6	22.9	5.7	34.3	10.3	10.3
名古屋地区取引先計	31.6	4.4	27.2	23.5	11.8	11.8	33.8	5.9	5.1
当金庫取引先計	23.2	4.8	18.3	26.4	18.0	8.4	34.1	8.4	8.0
全国	28.7	11.2	17.4	22.7	15.2	7.5	30.0	7.4	11.2
愛知	33.9	13.2	20.7	23.9	15.6	8.3	29.6	4.7	7.9

法人税制改正への認識は「心配」がやや多い

<当金庫取引先>

法人税制改正に対する認識について、「歓迎している」の回答割合が23.2%（「歓迎」4.8%、「やや歓迎」18.3%）、「心配している」の回答割合が26.4%（「やや心配」18.0%、「心配」8.4%）となっている。また、「どちらでもない」が34.1%と最も多くの回答があった。

瀬戸・尾張旭地区取引先は「歓迎している」の回答割合が16.6%、名古屋地区取引先が31.6%、「心配している」では瀬戸・尾張旭地区取引先が回答割合28.6%、名古屋地区取引先の23.5%となり、名古屋地区取引先は「歓迎している」、瀬戸・尾張旭地区取引先では「心配している」との企業の割合が多かった。

また、全国・愛知県をみても名古屋地区取引先と同様に「歓迎している」が「心配している」を上回った。

<陶磁器製造業>

法人税制改正に対する認識について、「歓迎している」の回答割合は20.5%（「歓迎」5.7%、「やや歓迎」14.8%）となっている。一方、「心配している」の回答割合が23.9%（「やや心配」18.2%、「心配」5.7%）となっており、「心配している」が「歓迎している」をわずかに上回った。

業種別をみると、「歓迎している」ではファインセラミックス（35.7%）、和飲食器（30.0%）、タイル（25.0%）の回答割合が当金庫取引先全体を上回っている。また、「心配している」では洋飲食器（66.7%）、電磁器（40.0%）と業種により歓迎している企業と心配している企業が二極化している。特に洋飲食器では「歓迎している」が0.0%と歓迎している企業は1先もなかった。

3. 積極的な設備投資を開始する条件について

(単位:%)

	先行き不透明感の払拭	税制優遇や助成金等の拡充	設備の陳腐化・老朽化	金融機関の貸出態度緩和	受注増加	機械化投資の必要性増大	業種転換	その他	すでに積極化している	積極的な設備投資はしない
ノベルティ	17.6	0.0	35.3	0.0	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6
洋飲食器	0.0	0.0	33.3	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
タイル	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
電磁器	15.0	5.0	30.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
ファインセラミックス	14.3	21.4	21.4	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	7.1	7.1
和飲食器	0.0	0.0	40.0	0.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	45.0
陶磁器製造業計	11.4	4.5	29.5	0.0	21.6	4.5	0.0	0.0	1.1	27.3
珪砂	0.0	18.2	18.2	0.0	54.5	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
和飲食器卸売	12.5	0.0	20.8	0.0	29.2	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5
電設資材卸売	16.7	5.6	27.8	0.0	27.8	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7
建築・土木・生コン	5.9	17.6	11.8	0.0	35.3	5.9	0.0	0.0	0.0	23.5
螺子	35.3	11.8	5.9	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	23.5
その他業種計	14.9	9.2	17.2	1.1	29.9	3.4	0.0	0.0	1.1	23.0
瀬戸・尾張旭地区取引先計	13.1	6.9	23.4	0.6	25.7	4.0	0.0	0.0	1.1	25.1
名古屋地区取引先計	17.6	5.9	19.1	2.2	22.1	6.6	0.7	0.7	1.5	23.5
当金庫取引先計	15.1	6.4	21.5	1.3	24.1	5.1	0.3	0.3	1.3	24.4
全国	20.6	9.9	15.3	2.4	17.8	4.2	0.6	0.8	2.9	25.7
愛知	18.0	10.7	17.8	2.8	19.6	5.2	0.1	0.7	3.1	22.0

設備投資開始の条件は受注増加・設備の陳腐化・老朽化

<当金庫取引先>

積極的な設備投資を開始する条件（「積極的な設備投資はしない」と回答した企業を除く）について、「受注増加」の回答割合が24.1%と最も多く、「設備の陳腐化・老朽化」が21.5%、「先行き不透明感の払拭」が15.1%となっている。

瀬戸・尾張旭地区取引先は、「受注増加」の回答割合が25.7%と最も多く、「設備の陳腐化・老朽化」が23.4%、「先行き不透明感の払拭」が13.1%となっている。

名古屋地区取引先も瀬戸・尾張旭地区取引先同様、「受注増加」の回答割合が22.1%と最も多く、「設備の陳腐化・老朽化」が19.1%、「先行き不透明感の払拭」が17.6%となっている。

また、全国・愛知県も当金庫取引先と同様に「受注増加」等が上位の回答になっているが、全国で「先行き不透明感の払拭」が20.6%で最も多くの回答となった。

<陶磁器製造業>

積極的な設備投資を開始する条件（「積極的な設備投資はしない」と回答した企業を除く）について、「設備の陳腐化・老朽化」が29.5%、「受注増加」が21.6%、「先行き不透明感の払拭」が11.4%となっており、「設備の陳腐化・老朽化」の回答割合が最も多かった。また、「積極的な設備投資を行うつもりはない」との回答が27.3%があった。

業種別でみると、ノベルティ・電磁器・和飲食器は「設備の陳腐化・老朽化」、洋飲食器は「受注増加」、ファインセラミックスでは「税制優遇や助成金等の拡充」等の回答が最も多く、積極的な設備投資を開始する条件は業種によって異なる結果となった。

4. 人材の現況と対応状況について

(単位:%)

	人手が不足										人手は適正	人手は過剰
		給与・賞与の引上げ	正社員の採用基準緩和	非正規社員の採用拡大	女性・高齢者の活躍	機械化の推進	下請け等への外注	受注絞込みなど仕事量調整	対応不能・従業員努力等に対応			
ノベルティ	41.2	5.9	5.9	0.0	17.6	0.0	11.8	0.0	0.0	58.8	0.0	
洋飲食器	33.3	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	
タイル	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	
電磁器	20.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	80.0	0.0	
ファインセラミックス	50.0	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	50.0	0.0	
和飲食器	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.0	0.0	
陶磁器製造業計	28.4	3.4	2.3	6.8	9.1	2.3	2.3	1.1	1.1	71.6	0.0	
珪砂	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.7	0.0	
和飲食器卸売	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	91.7	0.0	
電設資材卸売	27.8	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	66.7	5.6	
建築・土木・生コン	35.3	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	64.7	0.0	
螺子	35.3	5.9	0.0	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	58.8	5.9	
その他業種計	25.3	5.7	4.6	4.6	1.1	1.1	3.4	4.6	0.0	72.4	2.3	
瀬戸・尾張旭地区取引先計	26.9	4.6	3.4	5.7	5.1	1.7	2.9	2.9	0.6	72.0	1.1	
名古屋地区取引先計	27.9	5.9	3.7	1.5	2.9	3.7	2.9	4.4	2.9	71.3	0.7	
当金庫取引先計	27.3	5.1	3.5	3.9	4.2	2.6	2.9	3.5	1.6	71.7	1.0	
全国	35.8	6.4	4.0	5.3	4.7	2.5	4.7	4.4	3.8	61.6	2.6	
愛知	42.4	7.0	4.9	7.4	5.7	4.1	6.0	2.9	4.3	55.6	2.0	

人手は7割が適正、人手不足は給与引上げや採用拡大で対応

<当金庫取引先>

人材の現状について、「人手は適性」の回答割合は71.7%、「人手が不足」が27.3%、「人手は過剰」が1.0%となっている。人手不足の対応としては「給与・賞与の引上げ(5.1%)」、「女性・高齢者の活躍(4.2%)」、「非正規社員の採用拡大(3.9%)」となっている。

瀬戸・尾張旭地区取引先では、「人手は適性」の回答割合は72.0%、「人手が不足」が26.9%、「人手は過剰」が1.1%となっており、人手不足の対応としては「非正規社員の採用拡大(5.7%)」、「女性・高齢者の活躍(5.1%)」、「給与・賞与の引上げ(4.6%)」と当金庫取引先全体と同様の結果となった。

名古屋地区取引先では、「人手は適性」の回答割合は71.3%、「人手が不足」が27.9%、「人手は過剰」が0.7%となったが、人手不足の対応としては「給与・賞与の引上げ」を初め、「受注絞込みなど仕事量の調整」「正社員の採用基準緩和」「機械化の推進」などが上がった。

全国・愛知県では、約3～4割の企業が「人手が不足」と回答し、当金庫取引先全体を上回った。

<陶磁器製造業>

人材の現状について、「人手は適性」の回答割合は71.6%、「人手は不足」が28.4%となっており、「人手は過剰」との回答割合はなかった。人手不足の対応としては「女性・高齢者の活躍(9.1%)」、「非正規社員の採用拡大(6.8%)」、「給与・賞与の引上げ(3.4%)」と当金庫取引先全体と同様の対応状況であった。

業種別でみると、すべての業種で「人手は適正」と回答した企業が5割以上あり、特に和飲食器、電磁器が高い割合であった。また、人手不足の対応としてタイルは回答のすべてが「非正規社員の採用拡大」となり、電磁器でも最も多かった。和飲食器は回答のすべてが「女性・高齢者の活躍」で、ノベルティ、洋飲食器でも最も多い回答となった。ファインセラミックスでは「給与・賞与の引上げ」「機械化の推進」の回答割合が多かった。

5. 外国人との関わりへの増加に対する期待感について

(単位:%)

	期待している										特に期待していない
	国内顧客層の拡大・売上増大	海外拠点展開の担い手	職場の活性化・グローバル化	新技術・ノウハウの獲得	現場の労働力	会社中枢を担う人材の確保	地元経済の活性化	文化交流の促進	その他		
ノベルティ	58.8	11.8	5.9	0.0	11.8	5.9	0.0	23.5	0.0	0.0	41.2
洋飲食器	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8
タイル	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
電磁器	50.0	0.0	0.0	5.0	5.0	10.0	0.0	30.0	0.0	0.0	50.0
ファインセラミックス	64.3	0.0	7.1	0.0	7.1	35.7	14.3	0.0	0.0	0.0	35.7
和飲食器	65.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	30.0	10.0	0.0	35.0
陶磁器製造業計	54.5	2.3	2.3	2.3	4.5	18.2	2.3	20.5	2.3	0.0	45.5
珪砂	45.5	0.0	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	54.5
和飲食器卸売	45.8	0.0	4.2	0.0	0.0	16.7	4.2	20.8	0.0	0.0	54.2
電設資材卸売	38.9	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	11.1	5.6	0.0	0.0	61.1
建築・土木・生コン	47.1	0.0	0.0	5.9	0.0	35.3	0.0	5.9	0.0	0.0	52.9
螺子	35.3	0.0	0.0	0.0	5.9	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	64.7
その他業種計	42.5	1.1	1.1	3.4	2.3	21.8	3.4	8.0	1.1	0.0	57.5
瀬戸・尾張旭地区取引先計	48.6	1.7	1.7	2.9	3.4	20.0	2.9	14.3	1.7	0.0	51.4
名古屋地区取引先計	47.1	7.4	4.4	5.1	2.2	16.2	2.2	8.1	1.5	0.0	52.9
当金庫取引先計	47.9	4.2	2.9	3.9	2.9	18.3	2.6	11.6	1.6	0.0	52.1
全国	44.1	9.7	2.2	3.6	1.8	13.7	1.2	8.3	2.7	0.7	55.9
愛知	51.5	8.7	4.2	4.5	1.5	20.2	2.2	7.1	2.2	0.8	48.5

現場の労働力・地元経済の活性化で外国人に期待

<当金庫取引先>

外国人との関わりへの期待感については、「期待している」の回答割合が47.9%となっており、内訳では「現場の労働力」が18.3%、「地元経済の活性化」が11.6%となっている。一方、「特に期待していない」との回答割合が52.1%と半数以上が期待していないとの回答であった。

瀬戸・尾張旭地区取引先、名古屋地区取引先でも当金庫取引先全体と同様に「特に期待していない」が「期待している」の回答割合を上回り5割を超えている。期待している内訳としては、「現場の労働力」「地元経済の活性化」と瀬戸・尾張旭地区取引先、名古屋地区取引先ともに回答割合が多かったが、次に多かった項目は、瀬戸・尾張旭地区取引先は「新技術・ノウハウの獲得」、名古屋地区取引先では「国内顧客層の拡大・売上増大」と異なる項目となった。

また、全国は「特に期待していない」が当金庫取引先全体以上であったが、愛知県では「特に期待していない」を「期待している」が上回り、5割以上が期待している結果となった。






















<陶磁器製造業>

外国人との関わりへの期待感については、「期待している」の回答割合が54.5%となっており、内訳は「地元経済の活性化」の回答割合が20.5%、「現場の労働力」が18.2%となっている。一方、「特に期待していない」は45.5%の回答割合となり、愛知県よりも期待感が強い。

業種別でみると、ノベルティ、電磁器、和飲食器は「地元経済の活性化」の回答割合が最も高く、ファインセラミックスは「現場の労働力」、洋飲食器は「職場の活性化・グローバル化」「現場の労働力」、タイルは「現場の労働力」「地元経済の活性化」の回答割合が高くなっている。また、ノベルティ、ファインセラミックス、和飲食器は「特に期待していない」の回答割合が当金庫等取引先全体と比べて低く、外国人との関わりへの期待感が伺われる。

景気動向調査結果 (名古屋地区)

平成26年 9月

業種		時期	前期 平成26年 4~6月	当期 平成26年 7~9月	来期見通し 平成26年 10~12月	概況
製造業	繊維製品					業況判断DIは△9.1、前期比27.3ポイント悪化となった。受注額DIは△18.2、前期比9.1ポイントの悪化。売上数量DIも△18.2、前期比9.1ポイント悪化している。 予想業況判断DIは27.3、今期比36.4ポイント改善する見込み。
	機械・部品					業況判断DIは△16.2、前期比26.7ポイント悪化となった。受注額DIは5.4、前期比5.1ポイントの悪化。売上額DIも5.4、前期比2.5ポイントの悪化となっている。 予想業況判断DIは16.2、今期比32.4ポイント改善する見込み。
	紙加工品					業況判断DIは△33.3、前期比33.3ポイント悪化となった。受注額DIは△20.0、前期比20.0ポイントの悪化。売上額DIは△20.0、前期比33.3ポイントの悪化となっている。 予想業況判断DIは△20.0、今期比13.3ポイント改善する見込み。
卸売業	鋼材・伸銅品					業況判断DIは4.8、前期比横ばいとなった。売上額DI、売上数量DIはともに4.8、前期比ともに28.6ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは0.0、今期比4.8ポイント悪化する見込みとなっており、先行きを慎重にみている企業が多い。
	建築材料					業況判断DIは△25.0、前期比12.5ポイント悪化となった。但し、売上額DIは△12.5で前期比6.3ポイントの改善。売上数量DIは△18.8で前期比12.5ポイントの改善となっており、今後の動向が注目される。 予想業況判断DIは6.3、今期比31.3ポイント改善する見込みとなっており、先行きに改善が期待される。
	家具・文具					業況判断DIは22.2、前期比22.2ポイントの改善となった。売上額・売上数量DIはともに22.2、前期比はともに22.2ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは22.2、今期比横ばいの見込み。
建設業						業況判断DIは14.8、前期比横ばいとなった。受注額DIは11.1、前期比横ばい。売上額DIは3.7、前期比3.7ポイントの改善となっている。 予想業況判断DIは11.1、今期比3.7ポイント悪化する見込みとなっており、先行きを慎重にみている企業が多い。

※この天気図は、本調査を総合的に判断して作成したものです。

